

令和 8 年 6 月吉日

学校関係者・行政関係者 各位

アニメフェス仙台実行委員会
(株式会社エービーコンサルティング)

「アニメフェス仙台 2026」開催のご案内 ー内閣府「地方創生に資するコンテンツ拠点」選定を受けた取組としてー

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、地域の教育活動ならびに産業振興にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も令和 8 年 8 月 8 日(土)・9 日(日)の 2 日間、仙台駅前 AER にて「アニメフェス仙台 2026」を開催いたします。本イベントは、アニメーションを単なる娯楽としてだけでなく、若者の進路選択、地域・観光産業振興等への地域とアニメ産業の接続点とすることを目的としています。

アニメフェス仙台の取組は、2025 年度内閣府「コンテンツ地方創生拠点」として全国 23 地点の選定箇所の 1 つとなった取組であり、東北におけるコンテンツ産業振興、クリエイター育成、地域経済への波及を目指すものです。国の補助事業や人材育成施策に関係を持ち、地域における新たな産業振興の基盤づくりを進めてまいります。

アニメーション、ゲーム、映像等のコンテンツ産業は、国内外で大きな市場を形成し、作品制作に加え、観光、商品開発、地域 PR、教育分野など幅広い波及効果を持っています。一方で、東北地域においては、制作現場や関連する職業、産業としての実態に触れる機会がほぼありません。

「アニメフェス仙台」では、制作会社、業界団体、教育機関等の協力を得ながら、学生や若者がアニメーションの仕事を具体的に知る機会を提供しつつ、学校関係者、行政関係者、地域産業界の皆様にも、コンテンツ産業の可能性を理解いただく場を目指しています。

特に、進路を考える中高生・専門学校生・大学生にとって、アニメ制作や関連産業に関わる仕事、求められる人材像、学びの方向性を知る貴重な機会となります。また、行政・教育関係の皆様にとっても、地域におけるクリエイター育成、若者の地元定着、観光・文化資源の活用、地域ブランディングを考える上で参考となる内容です。

つきましては、添付チラシをご確認いただき、貴校・貴団体内での周知、掲示、関係者へのご案内等にご協力を賜りますようお願い申し上げます。多くの学生・生徒、保護者、教育関係者、行政関係者の皆様にご来場いただけますと幸いです。

開催概要

- ・名称：アニメフェス仙台 2026
 - ・日時：令和 8 年 8 月 8 日(土)・9 日(日)
 - ・会場：仙台 AER 5 階 多目的ホール
 - ・入場料：無料
 - ・対象：中高生、専門学校生、大学生、保護者、学校関係者、行政関係者、地域産業関係者、アニメ・コンテンツ産業に関心のある方
 - ・内容：アニメーション制作会社・関係団体による展示、講演、トークショー、交流、進路・就業に関する情報提供、体験会等 裏面ご参照ください。
- * 来場数把握等のためチラシ掲載の QR コードの「事前申込」のご協力をできるだけお願いします

地域の若者が、アニメーションやコンテンツ産業を身近な進路・仕事として考えるきっかけとなるよう、関係者一同、準備を進めております。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【お問い合わせ】「アニメフェス仙台」実行委員会／株式会社エービーコンサルティング
担当：鈴木健彦 携帯：080-9403-9315 E-mail：t.suzuki@abconsulting-tohoku.com

別紙 行政関係者向け重点参加案内

コンテンツ産業振興・観光・人材育成の視点からご参加いただきたい主なプログラム

「アニメフェス仙台 2026」では、学校関係者・学生向けの進路啓発に加え、行政関係者の皆様にとっても、今後の地域産業振興、観光政策、人材育成施策を考える上で参考となるトークショー・体験会を予定しています。特に、日本アニメーター・演出協会およびアニメツーリズム協会のプログラムは、行政施策との接点が大きい内容です。

1 行政関係者に特に参加いただきたいトークショー

(1) 一般社団法人日本アニメーター・演出協会関連トークショー(以降の表記:JAniCA)

JAniCA は、アニメーター・演出家等の職能団体として、制作現場の実態、働き方、人材育成、教育との接続などに関する知見を有しています。中央官庁のアニメ産業調査協力実績も多く、行政関係者にとっては、コンテンツ産業を地域で育成する際に必要となる「制作現場の実態」を把握する機会となります。

- ・アニメーション制作現場の仕事の流れ、職種、若手人材が業界に入る際の課題
- ・教育機関と制作現場をつなぐ際の留意点、地域でクリエイターを育成する場合に必要な環境整備
- ・生成 AI 時代における制作現場の考え方、行政が人材育成事業を設計する際の実務的な視点

(2) アニメツーリズム協会関連トークショー 一般社団法人アニメツーリズム協会

アニメツーリズム協会は、アニメ作品の舞台や関連地域を活用した観光振興、地域 PR、国内外への情報発信に関する取組を行っています。行政関係者にとっては、アニメ・コンテンツを観光政策や地域ブランディングにどのように結び付けるかを考える機会となります。

- ・アニメ作品と地域観光を結び付ける基本的な考え方、聖地巡礼、ファン交流、地域回遊の仕組み
- ・自治体が作品や制作会社と連携する際の留意点、権利処理、作品イメージ、ファン心理への配慮
- ・インバウンド観光や若年層誘客への展開可能性、地域 PR の成功要因と失敗しやすい点

(3) アニメデジタル作画機材の理解と最前線 Wacom

現在主流のデジタル作画はタブレットで描いていくアニメーターがほとんどです。そのタブレット最大手の一つ、Wacom 社からデジタル作画の今と今後の動向などをお聞き出来ます。ゲーム系の方にも参考になるトークです。

2 その他トークショー参加企業・団体の概要

本イベントでは、アニメーション制作会社、関連団体、教育機関等によるトークショー、個別相談コーナーを予定しています。各社・各団体からは、実際の制作現場、仕事の内容、業界で求められる人材、地域との連携可能性などについて紹介いただく予定です。制作会社が地方拠点やスタジオ展開を検討する際に、地域に何を期待しているのか、どのような人材や環境があれば連携が進みやすいのかを把握する機会となります。

- ・制作現場、制作進行、作画、美術、撮影、CG 等の職種紹介
- ・若手人材の採用・育成、学生が今から準備すべき学びや姿勢
- ・地元企業、学校、行政との協力可能性、地方での制作人材育成の課題

*旭プロダクションは白石市、つむぎ秋田アニメ Lab は秋田市の誘致企業、スタジオクラッチはアニメフェス仙台の取組を通じて 6 月に仙台市に新規立地した企業です。

3 体験会の概略

会場では、学生・生徒や一般来場者が、アニメーション制作や関連分野に触れられる体験会を予定しています。体験会は、単なる娯楽的な催しではなく、進路啓発、職業理解、クリエイティブ教育の入口として位置付けています。

- ・デジタル作画やアテレコの体験、アニメーション制作工程、映像・背景・美術・撮影等仕事紹介
- ・制作現場で使われる考え方や作業の一部体験、学生向けの進路相談・業界理解の機会
- ・専門学校・教育機関等による学びの紹介、関連企業・団体による展示、説明、交流

4 行政関係者の皆様に期待する視点

アニメフェス仙台は、内閣府選定事業としての位置付けを踏まえ、東北におけるコンテンツ産業振興、人材育成、観光・文化発信の基盤づくりを目指しています。コンテンツ産業を地域産業として育成する可能性、若者の進路選択・地元定着、学校教育・専門教育・産業界をつなぐ仕組みづくり、観光振興、補助事業や地域ブランディング施策との接続の観点からご参加をご検討ください。